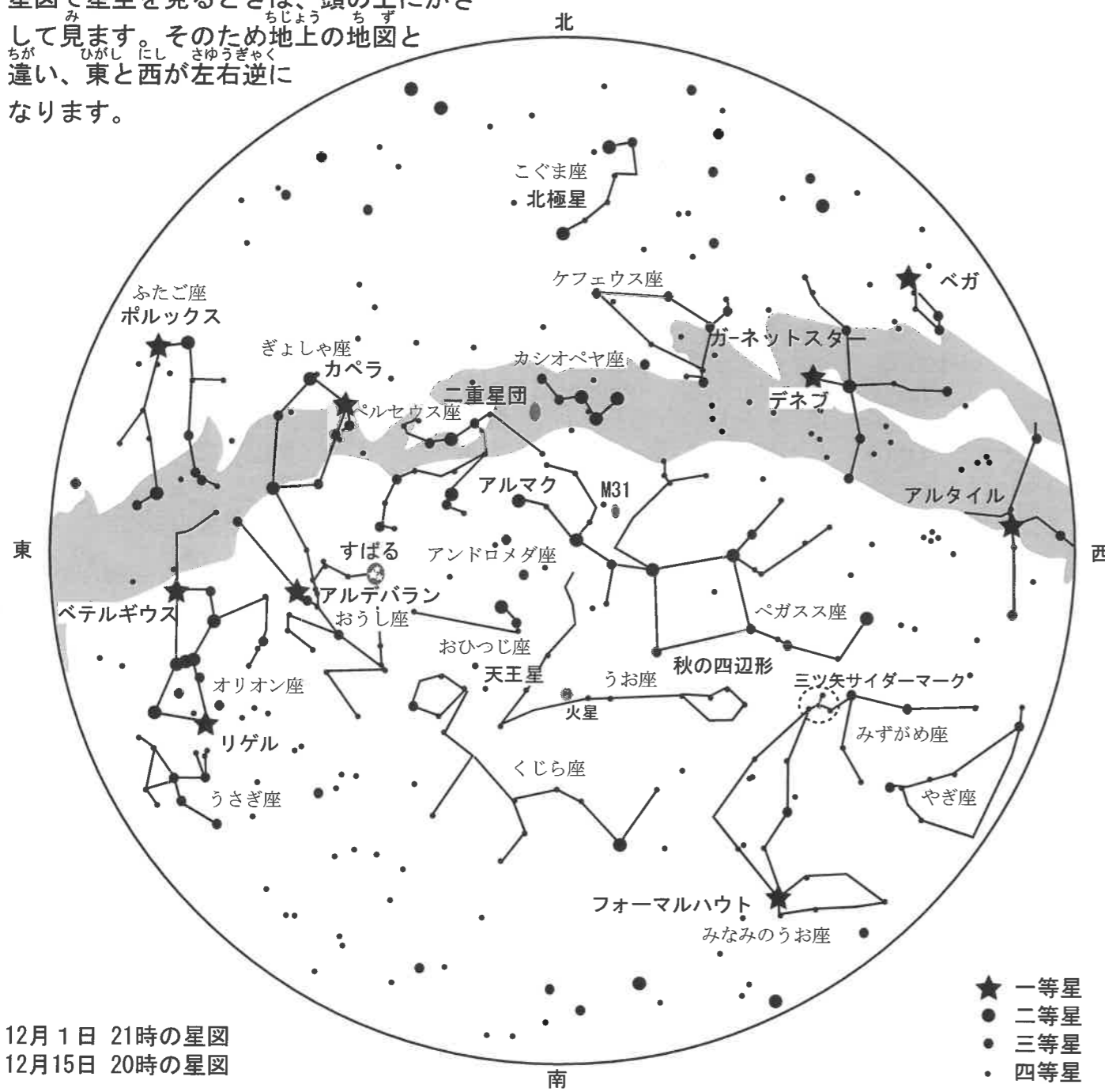


星図で星空を見るときは、頭の上にかざして見ます。そのため地上の地図と違い、東と西が左右逆になります。



12月1日 21時の星図
12月15日 20時の星図

季節はすっかり冬になり、東の空からはオリオン座をはじめとした冬の星座たちが昇ってきます。また夕方の西の空で日ごとに木星と土星が接近していく姿が見られます。暖かい格好をして星空観察に出かけましょう。

開館・イベント

すばるをみよう
 おうし座にある若い星の集まりをみよう!
 日にち: 12月4日(金)～6日(日)

星にお願い!五角で合格!
 五角形のぎよしゃ座に合格を祈願しよう!
 日にち: 12月11日(金)～13日(日)

オリオン座をみよう
 世界一有名な星座!?オリオン座をじっくり観察!
 日にち: 12月18日(金)～20日(日)

冬の大きな三角をみよう
 夏の大きな三角が有名ですが冬にも大きな三角形があります。
 日にち: 12月25日(金)～27日(日)

星座かみしばい(やぎ座)
 手作り紙芝居で誕生星座の神話を紹介します。
 日にち: 12月26日(土)
 時間: 午後2時30分～午後3時

※12月28日(月)～2021年1月4日(月)は休館です

12月天文カレンダー

- 6日(日) 小惑星探査機はやぶさ2帰還予定
- 7日(月) 大雪(太陽黄経255°)
- 8日(火) 下弦の月☾
- 14日(月) ふたご座流星群(極大 午前10時)
- 15日(火) 新月☾
- 17日(木) 夕方、月・木星・土星が接近
- 21日(月) 冬至(太陽黄経270°)
- 22日(火) 夕方、木星・土星が超大接近
- 上弦の月☽
- 30日(水) 満月☽



特別開館

ふたご座流星群 特別開館 ※申込制
 日にち: 12月14日(月)
 時間: 午後9時～午後11時

※11月25日に申し込みは終了しました
 ※特別開館当日の三密や混乱を避ける為、申し込みがない方のご来館はご遠慮下さい

カメラ講座(全4回) ※予約制

日にち: 12月1日(火)～
 ※日程、時間、予約方法などの詳細は裏面に記載

この時期、空が暗くなり天体が見え始める時間帯は午後6時頃からです



太陽メガネ工作

太陽を安全にみるための特殊なメガネ工作。
 日の出や日の入り、太陽の表面を観察しよう!
 日にち: 12月13日(日)・27日(日)
 時間: 午後3時～午後4時
 材料費: 200円
 対象者: どなたでも
 申込み: 電話・メールにて(表面に記載)
 定員: 16名(申込先着順)
 ※付き添いを含む人数です
 ※付き添いは1名まででお願いします

当日体調が優れない方はご遠慮ください。必ずマスク着用でご参加ください。

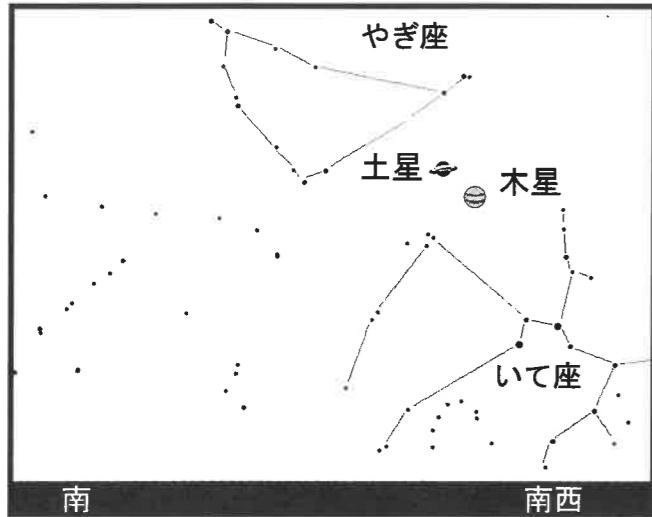


ふゆやす とくしゅう
冬休み特集!!

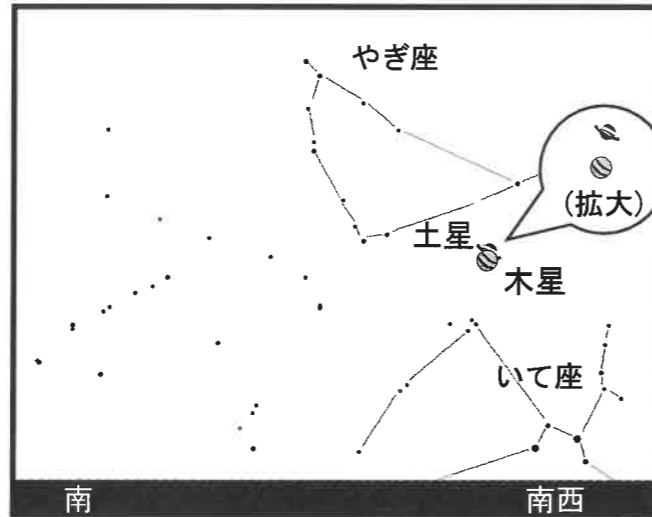
もくせい どせい わん ちょうだいせっきん
木星と土星が397年ぶりの超大接近!!!



2020年12月21日から22日にかけて、木星と土星が地球からの見かけ上、超大接近します。木星と土星は20年ごとに接近をするのですが、これほど近づくのは1623年以来397年ぶりのこと！最接近する22日だけではなく、毎日観察をすると日ごとに惑星同士が近づく姿が見られるでしょう。



12月1日午後6時頃の空



12月21日午後5時30分頃の空

こうざ せいけいしゃしんこうざ
カメラ講座(星景写真講座)

「星の撮影ってなんだか難しそう…」そんな風に思いませんか？ちょっとしたコツさえつかめばステキな星空の写真を撮ることができます。今年の冬は星空撮影にチャレンジしてみませんか？

- 日時：第一回 12月1日(火)午後7時30分～午後9時
『イントロダクション、必要な機材、準備』
- 第二回 12月8日(火)午後7時30分～午後9時
『星空撮影講座、実習』
- 第三回 12月15日(火)午後7時30分～午後9時
『星空写真のレタッチ(画像編集講座)』
- 第四回 12月22日(火)午後5時～午後7時
『天体望遠鏡を使った天体撮影講座+実習』

対象者：一眼レフカメラ、ミラーレス一眼レフカメラをお持ちの方

参加費：無料
定員：15名(予約先着順)

講師：山口 千宗さん[天文リフレクションズ編集長]
申込み：電話・メールにて(表面に記載)



ほし なん ほし
クリスマスツリーのあの星は何の星？

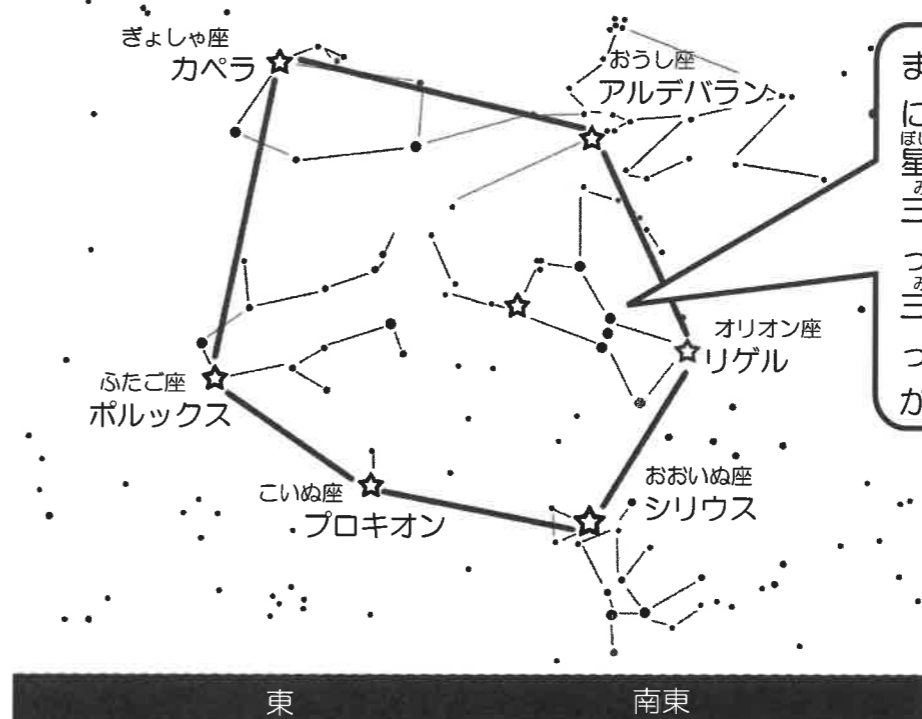
クリスマスツリーのとっぺんに大きな星が飾り付けられた姿をみなさん一度は見たことがあるのではないのでしょうか？

この星は『ベツレヘムの星』と呼ばれています。かつて三人の賢者達が西の空に、見たこともない明るい星を見つけその方角に向かって歩いて行きました。そしてたどり着いたベツレヘムの地に建っていた小屋でイエス・キリストが誕生していた、という伝説があります。

クリスマスツリーのとっぺんの星はこのお話の星を表しています。この見たこともない明るい星の正体が気になるのですが、大彗星なのか、明るい流れ星なのか、今年の木星と土星のように惑星が大接近したのか、なんと現在でも結論はでていないそうです。興味を湧いた方は冬休みの間に調べてみてはいかがでしょうか。



ふゆ さが
冬のダイヤモンドを探してみよう!



まずはオリオン座の真ん中にある三つ並んだ星『三ツ星』を探してみよう！三ツ星に沿って右上に上がっていきとアルデバラン、三ツ星に沿って左下に下がっていきとシリウスが見つかるよ！



12月15日午後10時頃の空

冬の星空には一等星と呼ばれる明るい星が特に多く集まっていて、どの季節の星空よりもきらびやかな印象を受けます。その中でも上の六つの星を結んで作る大きな六角形は冬のダイヤモンド(冬の六角形)と呼ばれています。

いきなりすべての星や星座を探すのは難しいので、まずは形が分かりやすいオリオン座などを探してみてもひとつずつ一等星を結んでいきましょう。きっと宇宙一大きなダイヤモンドを見つけることができるはずですよ。